

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」によりキジハタ稚魚を放流

(公財)大阪府漁業振興基金

(一社)日本釣用品工業会・(公財)日本釣振興会が社会貢献の一環として全国で展開している LOVEBLUE 事業により、釣り人に人気があり、大阪府において栽培漁業の対象種として取組みを進めているキジハタの稚魚を放流しました。

放流は堺市地先、泉大津市地先で、地元漁業者、遊漁船業者、(公財)日本釣振興会大阪府支部のみなさんのご協力をいただき、10月3日、10月4日、11月6日の3日間で計12,000尾を放流しました。関係者の皆様に感謝申し上げます。

なお、放流効果の把握のため、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センターの協力により、放流魚のうち6,000尾は標識を付け(左腹鰭抜去)全長80mmで、残り6,000尾も標識を付け(右腹鰭抜去)全長100mmで放流を行っています。

抜き去った鰭は成長しても再生しないので、見つけれられた際はご連絡をよろしくお願いいたします。
(TEL:072-495-5252 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター)



種苗生産された稚魚



腹鰭を抜去



放流する稚魚



放流作業